

宇都宮大学陽東地区土地貸付事業における 基本協定締結について

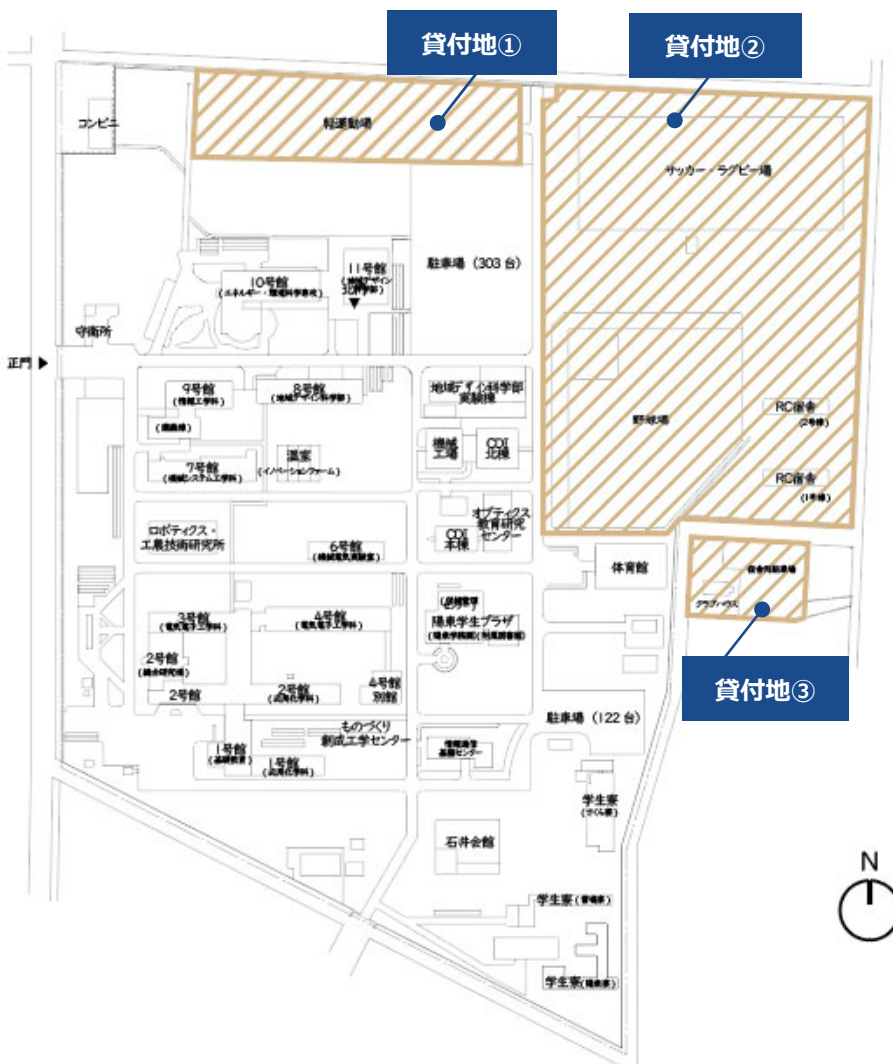
1. 背景・事業の目的

国立大学法人は、国からの運営費交付金、学生からの授業料などの自己収入、受託研究費や寄附金などの外部資金を原資に活動していますが、近年の物価上昇や大学運営を取り巻く環境の変化などを背景に、財政状況は厳しさを増しています。

こうした中、運営費交付金に依存するだけではなく、大学自らが独自の収入源を確保し、教育研究基盤を強化していくことが重要となっています。

本事業では、本学が保有する当面使用予定のない土地を民間事業者へ貸付け、長期的かつ安定的な収入を確保することで、教育研究活動の一層の充実を図ることを目的とするものです。

2. 事業概要



事業名

宇都宮大学陽東地区土地貸付事業

貸付対象地

宇都宮市陽東 7-1-2 の一部

貸付面積

総面積：約 50,569 m²

貸付地①：約 7,773 m²

貸付地②：約 39,734 m²

貸付地③：約 3,062 m²

貸付用途

貸付地①：一般向けアパート

貸付地②：商業施設・医療施設等

貸付地③：学生向けアパート

貸付方式

貸付地①および③：

一般定期借地権設定契約

貸付地②：

事業用定期借地権設定契約

【貸付対象地（陽東キャンパス配置図）】

3. 事業協力者選定の経緯

以下のとおり公募手続きを実施しました。

令和7年7月	公募開始	募集要項公表
令和7年8月	応募受付	応募：6者
令和7年11月	提案書提出	提出：5者 (内1者は提案価格が予定価格を下回り提案無効)
令和7年11月-12月	書面審査および プレゼン・ヒアリング	対象：4者 審査委員会での審査の結果、最優秀提案者を選定
令和7年12月	優先交渉権者の決定・公表	審査委員会での審査を踏まえ、優先交渉権者の決定

4. 評価項目・選定のポイント

以下の観点について点数化し、選定基準に基づき総合評価を実施しました。

事業計画

事業の実現可能性・収支計画の妥当性

施設計画

建物の設計・用途・規模・安全性

管理運営計画

長期的な管理・維持保全の体制

環境負荷低減への取組

省エネ・環境配慮の具体的施策

事業実績

類似事業の経験・実績・信頼性

大学および地域との親和性・貢献性

大学・地域コミュニティとの調和

提案価格（地代）

地代の妥当性・競争性

5. 選定結果

総合評価の結果、以下のグループを最優秀提案者とし、本事業における優先交渉権者として選定しました。

代表企業	株式会社ベルク
構成員	栃木ミサワホーム株式会社

主な選定理由

敷地全体の活用計画

敷地全体に渡る計画の一体性・調和

経済条件（地代）の妥当性

提案価格・収支計画において優位な条件

*審査過程および4者すべての評価概要は、令和7年12月19日に本学ホームページにて公表済みです。

周辺環境への配慮

近隣住民・既存施設への影響に対する丁寧な対応

長期的な事業継続性

財務基盤・運営実績から安定した継続が見込まれる

6. 現状と今後の予定

- | **現在** 株式会社ベルクと基本協定を締結
- | **今後** 関係法令に基づく手続きを進めるとともに、定期借地権設定契約の締結および着工・開業に向け詳細について協議を継続



7. 本事業における大学の姿勢

本事業は大学の土地を事業者に貸し付けるものであり、大学が直接商業活動を行うものではありません。もっとも土地所有者としての責任を十分に認識し、事業者との連携のもと、以下の点に十分配慮しながら本事業を進めてまいります。

- | 事業者の選定から完成後の運営に至るまで、大学と事業者が密接に連携すること
- | 国立大学法人の土地として公共性や社会的責任に照らし、適切な事業内容とすること
- | 周辺環境や地域住民の生活に配慮し、地域との調和が十分に確保されること

8. 完成予想イメージ



【鳥瞰イメージ】



【建物・広場イメージ】



【散策路イメージ】

※ 本資料は現時点における計画段階のものであり、今後の協議などにより変更となる可能性があります。

■ 本件に関するお問い合わせ

国立大学法人 宇都宮大学
財務部施設課 施設企画係
TEL : 028-649-5065
FAX : 028-649-5075
E-mail : sisetu01@a.utsunomiya-u.ac.jp

■ 取材に関するお問い合わせ

国立大学法人 宇都宮大学
企画総務部企画総務課 広報・渉外係
TEL : 028-649-5201
FAX : 028-649-5027
E-mail : kkouhou@a.utsunomiya-u.ac.jp